

九州で生物多様性を考える

九州環境教育ミーティング

平成9年から11年まで大分県久住町で開催された大分県主催による「久住高原環境教育ミーティング」を引き継いだものです。

九州地区を中心として活動している環境教育に興味・関心を持つ団体・個人の“交流促進”や、環境関連のグループ、学校、行政、企業などの“環境教育活動の支援”などを目的とし、九州の各地で開催してきました。

3つのコンセプト

- 1 “ゆるやかで実りのあるネットワーク”の構築
- 2 “ニュートラル”の保持
- 3 “多様な立場”の人々が共存できる“開かれた環境教育の場”の創造



プログラム

3月5日(土)

- 13:00 受付
- 13:30 開会式
- 13:40 スライドショー「みんなつながってるんだね」
基調講演「九州で生物多様性を考えるには」
名古屋市立大学大学院 准教授 香坂 玲氏
- 15:30 分科会
- 18:30 情報交換会(夕食) 会場:チサンホテル熊本
各自宿泊先へ

分科会

1 センス・オブ・ワンダー

～この生きもののふるさとはどこ?～
見かけたいろいろな生きものたち、その原産地はどこなのでしょう。3月の初め、熊本市の中心にある熊本城公園を散策し、在来種、移入種、あるいは外来種という視点で観察してみましょう。

2 食と生活

～からし蓮根から生物多様性を考える～
熊本で380年続いている名物「からし蓮根」。この先もずっと食べていけるにはどうしたらいいのか?といった身近な視点から今話題の生物多様性について、からし蓮根を囲みつつ、色々と話し合います。

3 農業と生物多様性

～環境と共生した日本の農業を考える～
1万年間も狩猟生活を行ってきた縄文人。山の神・田の神に感謝しながら暮らした弥生人。先人は自然と共生しながら暮らしてきました。環境が著しく変化している現在、農業を通じて生物多様性について考えます。

4 林業と生物多様性

～森と林業を取り巻く世界～
熊本は約6割が森林でその61パーセントがスギやヒノキなどの人工林です。人工林はとかく日本の生物多様性低下の要因とされています。この分科会では、林業の視点で森林と生物多様性を考えていきます。

5 「人」が育む草原の生物多様性

～草原を守る「人」がいなくなる!?～
阿蘇の草原は、数多くの希少種を育むなど、生物多様性の宝庫ですが、現在、大きな危機を迎えています。草原を守る人がいなくなっているからです。このままでは、草原の未来はありません。この解決策を考えましょう!

6 里海が育む生物多様性

～干潟とともに再生した地域のつながり～
鹿児島県、錦江湾奥に位置する重富干潟。人の関わりが、少しずつ生きものにぎわいと呼び戻してきました。そして、干潟自体の変化に気づいたとき、わたしたちと自然がつながりながら育む生物多様性に出会ったのです。

3月6日(日)

- 9:00 分科会 まとめのワークショップ
- 10:45 全体会 ワークショップでの議論報告
- 12:00 閉会式・解散

申し込み方法

(1) 参加申し込み

下記の①～④のいずれかの方法でお申し込みください。その際には次の1)～7)の項目を明記してください。

- 1) ふりがな
- 氏名
- 2) 郵便番号
- 住所
- 3) 連絡先
TEL
- FAX
- E-mail
- 4) 性別 男 ・ 女
- 5) 年齢 歳
- 6) 所属
- 7) 参加したい分科会
第1希望
- 第2希望

- ①Web <http://keem.info/>
(申し込みフォームがあります)
- ②FAX **096-312-1894**
(上記フォームに記入しそのまま送信ください)
- ③E-mail sanka@keem.info
- ④郵送 〒860-0806 熊本市花畑町 4-8-2F
九州環境パートナーシップオフィス内
「KEEM 熊本大会開催事務局」宛

※個人情報保護法に基づき、お預かりした個人情報は本大会の運営及び連絡にのみ使用いたします。

(2) 手続き書類・参加費払込票の発送

申込確認後、参加費の払込票、会場案内・参加にあたっての注意などの確認書類をお送りします。

(3) 参加費の入金

参加費を郵便局にて払い込みください。入金確認後、正式申し込みとなります。

- 参加費：7,000円/人(一般)
- ：6,500円/人(学生)

*資料代、情報交換会費、保険料含む
*宿泊代は含まれません。

●口座記号番号：01750-5-52265

●加入者名：九州環境教育ミーティング

■参加対象・定員

環境教育に関心のある団体・個人 100名

■先着順の受付です

定員になり次第締め切ります。

最終締切は2011年2月22日(火)です。